

D&Nplusブラッシュアップセンターは、出産・育児・介護と仕事の両立をサポートします



Contents

1. 《開催報告》令和6年度みなとKOBEMディカルキャリアプロジェクト第2回院内講演会
2. 《案内》令和7年度復帰予定者「看護師復帰前研修」
3. 《募集》育児・介護復職者支援短時間勤務非常勤医員制度
4. 《寄稿》マタニティ白衣・スクラブ・ズボンレンタルサービス

1. 開催報告 令和6年度みなとKOBEMディカルキャリアプロジェクト第2回院内講演会

【各診療科における多様な働き方実現・若手医師のキャリア支援の取組】について、2024年12月9日(月)18:00-19:00 に医学教育学/消化器内科 特命助教 塩見 優紀 先生の司会進行のもと、歯科口腔外科 講師 木本 明先生と小児科学分野こども急性疾患学部門 特命教授 藤岡 一路 先生にご講演いただきました。



「口腔外科医としてのキャリア形成と今後の展望」

歯科口腔外科 講師 木本 明 先生

歯科と医科は研修制度の年数に違いがあり、医科が2年に対し、歯科は1年となっています。研修先に関しては、総合病院に歯科が併設していないことが多く、歯科大学附属病院や歯科開業医が大半を占め、そのまま研修後も診療所勤務をする傾向にあります(R4統計では、診療所勤務が医科で31%に対して、歯科では87%)。私達のように、大学の医局に所属し、病院歯科で働いている者は、歯科全体からすれば少数です。

神戸大学の歯科口腔外科では、神戸大学含め、兵庫県内の大学に歯学部がないことから、県内の多くの病院歯科(一部他県含む)へ医局員を出向させています。近年、結婚・出産後も歯科口腔外科の医局に残る女性歯科医師も増え、大学だけでなく、関連病院でもなくてはならない存在となっています。女性歯科医師が長く医局に残るようになった理由としては、大学での雇用方法の変更(令和2年頃より医員採用が人数でなく総勤務時間になった)や、ブラッシュアップ枠での採用、産休、育休制度の充実などが考えられます。以前までは、人数での採用であったため、病棟、当直業務ができない者から退職する傾向にありましたが、現在は結婚・出産後のライフスタイルに合わせた勤務が可能になりました。

キャリア形成に関しては、「専門医・学位・研究」を3本の柱としています。まずは日本口腔外科学会の認定医(→専門医→指導医)を目指します。その中で、各個人の希望に沿った道を模索し、必要な者は、さらに学位の取得、研究費の獲得を目指すという流れです。認定医取得の条件には、研修施設での研修が求められます。関連病院全てがその資格を有する訳でないため、今後はなるべく全ての関連病院で、研修施設の認定が望まれます。施設認定に関しては、専門医、もしくは指導医が常勤していることが条件ですので、専門医の育成が重要です。

医局の使命は、口腔外科のスペシャリスト育成と、地域への貢献であると考えています。派遣先が遠方であることや給与面での格差、研修資格の有無など、どうしても人気のある病院とそうでない病院に分かれます。全ての派遣地域、関連施設で充実した歯科治療を実現できることが目標です。そのために、年に一度意向調査を実施し、医局員の意思を確認するなど、密な連携を行った上で、医局員のライフスタイルに合わせた勤務体系の構築を目指しています。



「個人の意向を最大限尊重した医局運営(の結果、毎年自転車操業です)」

小児科学分野こども急性疾患学部門 特命教授 藤岡 一路 先生

神戸大学小児科が実施している専攻医研修プログラムは、まず、到達目標として「自分ひとりで責任を持って対応できる一般小児科医」を目指しています。また、研修目標として「疾患頻度・重要度の高いものから、幅広く子どもの医療を経験すること」「自分で問題を設定して解決することを学ぶ」ということを目標としています。小児科では、地域の中核病院で2年間経験を積み、その後神戸大学附属病院(6か月)・地域小児科センター(6か月)で研修をします。大学病院以外の研修期間が長いことがこのプログラムの特色です。プログラム在籍者数も多く全国的にみても人気のあるプログラムです。小児科は夜間救急も多く、保護者対応などもあり、近年不人気とされていますが、神戸大学の小児科プログラムはなぜ人気があるのかとよく問い合わせいただきます。第一の理由は、3年~4年目の勤務先を応募者自身によって決めることができることだと思います。希望の研修先病院は重複することもあるので、セレクションをせずに早い者順で採用しています。また、第二の理由として、卒後5年間はそもそも入局しないということを2023年からルール化しており、プログラム終了後の進路が自由なことも挙げられます。プログラム期間中の地域への医師派遣について、例年、専攻医2年目の秋口に行われる教授面談で、専攻医の希望をある程度聞いたうえで誰をどの施設に派遣するかを決定しています。勤務地は、基本的に僻地勤務は敬遠されることが多く、神戸から通いたいという希望に合わせて、現在の派遣先は基本的に神戸市内から通勤可能な4施設で固定化されています。大学病院研修期間(6か月間)について、周産期医療(NICU)と一般病棟(4階南)で研修します。周産期医療は労働が過酷なイメージがあり、専攻医からは敬遠されがちですので、プログラム募集要項に周産期医療研修を明記するとともに、専攻医のローテーション中は当直回数が一般病棟勤務時と同程度になるように負荷軽減に努めています。また、プログラム研修終了後の進路について、例年、専攻医3年目の後半(10月~11月)に行われる教授(プログラム責任者)面談において、意向を聴取しています。入局しない・他県の施設に進むという場合も励まして見送っています。入局者については、大学院進学、神戸市からの通勤圏内の中規模施設など、個々の希望通りの進路に進むことが多いです。僻地、周産期医療、小児救急などの不人気要素を含む病院への異動は、既存医局員からも基本的に断られる場合が多く、非医局者の採用も積極的にではありませんが認めている部分もあります(が、結局あまりうまく採用できていないなさそうです)。地域の小児医療への影響もあり、各地の施設から派遣要請を受けていますが、全てを満たすことができていないのが現状です。現場のスタッフの疲弊については、教授のモットーが「すべての医局員の幸せが最優先」ですので、無理を強いることは一切しません。以上、現行の小児科の人事は、個人の意向を最大限に尊重しています。そのため毎年この時期は、難解なパズルのピースを組み替えるような大変さです。ただ、診療科長の野津教授は本当に上から下まですべての医局員の意向に誠実に向き合っておられるので、素晴らしいことではあると感じています。

大変な医局長3年間でしたが無事に完走できたのはひとえに皆様のご支援のおかげです。本当にありがとうございました。

2. 令和7年度復帰予定者「看護師復帰前研修」

託児サービスあります

令和7年度に育児休業から復帰予定の方を対象とした研修です。当日は無料託児サービスをご利用いただけます。

2025年2月27日(木)・2月28日(金)・3月6日(木)・3月7日(金)

日	時間	研修内容
2/27 (木)	10:00-12:00	<時間> 実技演習(45分) + 電子カルテシステム操作研修(60分)
	13:00-15:00	
2/28 (金)	10:00-12:00	<実技演習> 安全な採血の方法や静脈注射のテクニックなど。
	13:00-15:00	
3/6 (木)	10:00-12:00	<電子カルテシステム操作研修> KOSMIC端末を実際に操作します。
	13:00-15:00	
3/7 (金)	10:00-12:00	※実技演習と電子カルテシステム操作研修の間に 15分間の休憩時間があります。
	13:00-15:00	

<お申込期限>

2025年2月10日(月)

事前キャンセル:3日前の17:00
当日キャンセル:8:30-9:00

ぜひご参加ください。
お申込みはこちらから



<実施場所>

実技演習:地域医療活性化センター地下1階(臨床基本技術トレーニングセンター)

電子カルテシステム操作研修:看護部会議室

<託児サービス>

託児サービスをご利用いただけます。安心して研修にご参加ください。

研修参加申込フォームに、お子様の情報をご入力ください。

研修参加確定後、当センターより当日のご案内と「保育カード」をメールにてお送りいたします。

保育カードに必要事項をご記入の上、当日ご提出ください。

託児サービスをご利用の場合、前日よりキャンセル料が発生します。変更等ある場合はお早目にご連絡いただきますと幸いです。

3. 募集 育児・介護復職者支援短時間勤務非常勤医員制度

子育て期(妊娠・出産・育児)や介護期からの復職を希望する医師のための復職支援制度です。
各診療科で多数の医師が利用中です。本制度を利用した復職が次のステップとなるよう、ぜひご応募ください。

利用期間 子が満9歳に達する以後の最初の3月31日までの期限内
かつ上限を子一人につき3年

勤務時間 週20時間~32時間

応募書類 履歴書・診療に対する実績と抱負等
推薦書(所属診療科長)

選考方法 選考委員会による審査(1年ごとの更新)

制度のご利用をお考えの方は、
2月中旬までににご応募ください。
2月下旬になるとお時間を要する場合があります。

※応募方法詳細については当センターまでお問合せください。

書類はQRコードより
ダウンロードください。



2. 寄稿 マタニティ白衣・スクラブ・ズボンレンタルサービス

マタニティ白衣・スクラブ・ズボンレンタルサービスをご利用いただきました先生より
ご感想をご寄稿いただきましたのでご紹介します。

サイズ S/M/L

各サイズ<調整>が可能です



◆この度はマタニティスクラブを利用させて頂きありがとうございました。

妊娠初期から悪阻がひどく、少しの腹部の締め付けも受け付けられない状況でしたので、以前も利用させていただいたこちらのレンタルサービスを利用させていただきました。マタニティ用スクラブは短期間しか使用しないため購入するにはもったいないと思っておりまして、ゆったりサイズに作られているため妊娠初期から後期まで使用でき、非常に助かりました。

お腹の部分が伸縮性の良い幅広ゴムになっていて、中のゴム紐の長さも自由に調整でき、生地は割と伸縮性があるため、長時間履いていても苦しくなく、とても快適に過ごせました。大変助かりました。ありがとうございました。

(循環器内科 医員 竹内 真理子 先生)



第3回キャリアカフェ

開催日時:2025年2月20日(木)
12:00-13:00

場所:福利厚生施設4階神緑会館記念ホールA
ハイブリット開催です。

Zoomからのご参加もお待ちしております。

テーマ:男性の育児
育児についてレジェンドパパが
みなさんのお悩みにお答えします。

お知らせ

申込受付中



【発行】

神戸大学医学部附属病院 D&Nplus ブラッシュアップセンター
〒650-0032

神戸市兵庫区荒田町2丁目1-5 地域医療活性化センター1階

TEL 078-382-5266/FAX 078-382-5837

MAIL brushup@med.kobe-u.ac.jp

HP https://www.hosp.kobe-u.ac.jp/dn/

